

AvePoint Cloud Governance

リリースノート



2018年7月リリース版

新機能と強化点

- お使いの Office 365 テナントに複数のドメインが存在し、かつ Office 365 グループを作成できるユーザーに対する制限がある場合、各ドメインのサービス アカウントを AvePoint Online Services の **サービス アカウントプール** に追加することが可能になりました。これにより、AvePoint Cloud Governance サービス要求経由で Office 365 グループを正常に作成することができます。AvePoint Cloud Governance は、サービス アカウント プールから要求されたグループ用の適切なサービス アカウントを取得します。グループを作成できるサービス アカウントが存在しない場合、AvePoint Cloud Governance は、AvePoint Online Services で Office 365 アプリ プロファイルを作成する際に使用された全体管理者アカウントを使用してグループを作成します。
- **設定 > メール設定** で、承認タスクおよびエラー タスクの通知メールに対して **アクション可能メッセージ** を有効にすることが可能になりました。承認タスクは **承認** と **却下** アクション、エラー タスクは **再試行** と **スキップ** アクションを提供します。アクション可能メッセージを有効にすると、メールの受信者はメールからアクションを実行することができます。
- SharePoint Online が電子情報開示ケースの新規作成に対応しなくなったため、AvePoint Cloud Governance では **電子情報開示センター** テンプレートを使用してサイト コレクションおよびサイトを作成することはできなくなりました。電子情報開示ケースは **Office 365 セキュリティ/コンプライアンス センター** で作成することができます。
- **サイト コレクションの作成** サービス要求内の **ユーザー プロファイル プロパティ** メタデータ値の表示が改善されました。IT 管理者が **\$要求者** ロールをメタデータ値として選択する場合、メタデータ値は要求者のユーザー名に置き換えられます。**サイト コレクションの作成** サービスで **\$サイト コレクションのメイン連絡先** または **\$サイト コレクションのサブ連絡先** ロールをメタデータ値として選択し、かつ連絡先を指定する場合、メタデータ値は連絡先のユーザー名に置き換えられます。サービスで連絡先を指定しない場合、ロール名はメタデータ値として表示されます。
- Cloud Governance パネルをサイトに追加することが可能になりました。**サイトの作成** サービスでパネルの自動展開を選択することができます。**Cloud Governance パネルの管理** 設定で、サイトの Cloud Governance パネルに表示する情報を選択することができます。
- **個人用サイト、個人用グループ、サイト コレクション レポート、グループ レポート** に **自動インポート プロファイル** 列が追加されました。

本バージョンの既知問題については、[既知の問題](#) を参照してください。

既知の問題

| 既知の問題 | 検出バージョン | 修正バージョン |
|--|---------|---------|
| <p>発行ポータル、エンタープライズ Wiki、コミュニケーション サイト テンプレートを使用しているサイト コレクションは、AvePoint Cloud Governance によって「読み取り専用」状態にロックすることができません。</p> <p>原因: Microsoft は、コミュニケーション サイト、発行ポータル、エンタープライズ Wiki サイト コレクションに対するサイト ポリシーの使用に対応していません。そのため、AvePoint Cloud Governance はサイト ポリシーを作成することで、サイト コレクションを「読み取り専用」状態にロックすることはできません。</p> | 1.9.3 | |
| <p>ビジネス ユーザーが グループの作成 サービス経由で要求を送信すると、新しい Office 365 グループが作成されます。その後、ビジネス ユーザーがこのグループの グループ設定の変更 サービス要求を送信すると、要求の承認後エラー タスクが生成され、グループ設定を変更することができません。</p> <p>原因: Exchange Online のスケジュール タイマー ジョブでは、新規作成された Office 365 グループのメールボックスの初期化が終了していません。</p> <p>対処法: グループのメールボックスの初期化後、承認者がエラー タスクの [リトライする] をクリックします。</p> | 1.8.4 | |
| <p>ユーザー ポリシー 構成ページまたは グループ設定の変更 要求ページで、エラー ページが表示され、ユーザー ポリシー適用・Office 365 グループ作成・Office 365 グループ設定の変更タスクによってエラー タスクが生成され、「リモート サーバー outlook.office365.com からのデータの処理が失敗し、次のエラー メッセージが返されました。」というエラー メッセージが表示される可能性があります。</p> <p>原因: AvePoint Cloud Governance は Exchange Online PowerShell 経由でユーザー ポリシーおよび Office 365 グループを管理します。このエラーは Exchange Online PowerShell に関連します。Office 365 の</p> | 1.8.1 | |

| 既知の問題 | 検出バージョン | 修正バージョン |
|--|---------|---------|
| <p>制限により、テナントごとに開ける Exchange Online PowerShell 接続の最大数は 3 件です。Exchange Online PowerShell に同時に接続するアプリケーション (AvePoint Cloud Governance、DocAve Online、その他の製品を含む) 数が 3 件を超過した場合、このエラーが発生します。</p> | | |
| <p>Built-in サイト グループの作成後にサイトのタイトルを変更すると、Built-in グループのプレフィックスが元のサイト タイトルのままであるため、サイト グループ名が変更済みサイト名と一致しなくなります。</p> | 1.8.1 | |
| <p>ビジネス ユーザーが ユーザー権限のクローン / 転送 サービス要求を開始する場合、クローン元ユーザー フィールドまたは クローン先ユーザー フィールドにパブリック グループ名 / プライベート グループ名を入力すると、システムは「ユーザー権限のクローン中にエラーが発生しました。」というエラー メッセージを生成します。原因: 権限のクローンおよび一時アクセス許可の付与は DocAve Online に基づいて実行されますが、パブリック グループおよびプライベート グループは DocAve Online で対応されていません。</p> | 1.7.3 | |
| <p>IT 管理者が追加のサイト コレクション管理者としてグループを割り当て、サイト コレクション連絡先またはサイト コレクション管理者のみがこのサービスの要求を送信できるようにする を選択します。このグループのユーザーが サイト コレクション設定の変更 サービス・サイト メタデータの変更 サービス・権限の変更 サービス・サイト コレクションのライフサイクル管理 サービス・サイトのライフサイクル管理 サービスを送信すると、「この要求を送信できるのは、サイト連絡先またはサイト コレクション連絡先のみです。」というメッセージが表示されます。</p> <p>原因: 追加のサイト コレクション管理者グループとして指定されたグループは SharePoint Online から取得されますが、グループの SPObjectId プロパティを取得することができません。要求を送信したユーザーがこのグループに所属するかどうかを確認できないため、エラーが表示されます。</p> | 1.7.2 | |

| 既知の問題 | 検出バージョン | 修正バージョン |
|---|---------|---------|
| <p>IT 管理者が SharePoint Online で、テンプレート ファイル名に tle@s't などの特殊文字を含むサイト テンプレートを作成・保存してから、サイトの作成 サービス > サイト テンプレート で、新規作成されたサイト テンプレートを選択します。ビジネス ユーザーがこのサービスを利用して要求を送信し、要求が承認者によって承認された後、エラー タスクが生成されます。システム エラーメッセージ「選択したサイト テンプレートでは、このタイプのサイトを作成することができません。」が表示されます。</p> <p>原因: カスタム テンプレートが SharePoint Online API から取得される際、SharePoint Online API は自動的にファイル名に特殊文字を含むテンプレート ファイルを除外します。このため、該当するテンプレート ファイルは SharePoint Online API を使用した検索結果に返されません。</p> | 1.7.2 | |
| <p>サービスの サービス権限 フィールドで、IT 管理者が このサービスを使用するユーザー / グループを選択する オプションを選択し、テキスト ボックスに Office 365 グループを入力して、このサービスを保存してアクティブ化すると、入力した Office 365 グループ内のユーザーが 要求の開始 ページでこのサービスを検出することができません。</p> <p>原因: この Office 365 グループは AvePoint Online Services に存在しませんが、AvePoint Cloud Governance データベースに存在します。</p> <p>対処法: AvePoint Online Services > 管理 > ユーザー管理 の順に進み、Office 365 グループを AvePoint Online Services ユーザーとして追加します。</p> | 1.7.1 | |
| <p>AvePoint Cloud Governance アプリを 2 件のサイト コレクションに個別に展開した場合、競合解決を 上書きする に設定した状態で コンテンツ移動 要求を送信し、その 1 件のサイト コレクションを他の 1 件のサイト コレクションにコピーします。タスクの承認・実行完了後、サイト リンク バー上の AvePoint Cloud Governance リンクをクリックすると、エラー ページが生成されます。</p> | 1.6 | |

| 既知の問題 | 検出バージョン | 修正バージョン |
|--|---------|---------|
| <p>サイト コレクションの作成 サービスで AvePoint Cloud Management 展開マネージャー プランを適用する および AvePoint Cloud Governance アプリを自動的に有効化する 機能を有効にし、AvePoint Cloud Management 展開マネージャー プランの展開元範囲に AvePoint Cloud Governance アプリを含む場合、サイト コレクションの作成 サービスを使用すると、新規作成されたサイト コレクションに AvePoint Cloud Governance アプリのリンクが 2 件表示されます。1 件のリンクは AvePoint Cloud Governance アプリ画面にリダイレクトされますが、もう 1 件のリンクをクリックするとエラー ページが表示されます。</p> | 1.6 | |
| <p>既存の Office 365 オブジェクトのインポート 機能を使用して SharePoint Online Built-in サイト コレクション .../portals/community および .../portals/hub をインポートする場合、カスタム スクリプト 設定を有効にしても、サイト コレクションの AvePoint Cloud Governance へのインポートに失敗します。</p> <p>原因: AvePoint Cloud Governance は、サイト コレクションの AllProperties プロパティを更新することができません。</p> | 1.6 | |
| <p>メール テンプレートを構成する際に、メッセージ本文内の参照が [参照を挿入] ボタンで追加されたものではなく、別のメール テンプレートからコピーされたものである場合、参照を実データに置き換えることができません。</p> | 1.5.1 | |
| <p>サイト コレクションの作成 サービスで、サイト コレクション テンプレート フィールドで テンプレートを後で選択 オプションが選択されており、AvePoint Cloud Governance アプリを自動的に有効化する および AvePoint Cloud Governance アプリ パーツをホームページに自動的に追加 の サイト情報カード オプションが有効になっている場合、このサービス要求の完了後にサイト コレクションは作成されますが、AvePoint Cloud Governance アプリおよびアプリ パーツはサイト コレクションに展開されていません。</p> | 1.5 | |

| 既知の問題 | 検出バージョン | 修正バージョン |
|--|---------|---------|
| <p>AvePoint Cloud Governance アプリをサイト コレクションまたはサイトに追加する際、AvePoint Cloud Governance を信頼しますか? ウィンドウに インストール言語の選択 オプションが存在しますが、AvePoint Cloud Governance アプリの表示言語はサイト コレクションまたはサイトの言語を継承するため、ここで選択した言語は AvePoint Cloud Governance アプリに反映されません。</p> | 1.5 | |
| <p>2 ステージの承認プロセス ステージを作成する際、承認者を第 1 段階で 2 人以上設定し、承認者として設定されたユーザーのタスクを一括モードで承認すると、第 2 段階が自動的に承認されてしまうエラーが発生します。承認の第 1 ステージで、2 名の異なるユーザー（ここでは仮にユーザー 1 とユーザー 2 とします）を承認者として設定し、順序を 全員が同時参加（並列） とします。第 2 ステージで、承認者を 1 名設定します。この承認プロセスをサービスに適用し、サービスに準拠した要求を送信します。すべてのタスク で、ユーザー 1 とユーザー 2 のタスクを選択し、リボン上の [承認] をクリックして、2 件のタスクを承認すると、第 2 ステージ承認者用に生成されたタスクが自動的に承認されてしまいます。</p> | 1.2.1 | |
| <p>SharePoint Online の メンバー を確認すると、メンバー および すべてのユーザー (membership) が取得されます。メンバー と すべてのユーザー (membership) の表示名が競合しています。SharePoint Online では、異なるユーザーまたはセキュリティ グループは同一の表示名を持つことができますが、AvePoint Cloud Governance は最初に選択された表示名以外を使用することはできません。そのため、すべてのユーザー (membership) がメタデータ値として使用されます。</p> | 1.2 | |
| <p>Internet Explorer 8 を使用して AvePoint Cloud Governance にアクセスする場合、対応フォームの構成を実行することはできません。</p> | 1.1 | |

| 既知の問題 | 検出バージョン | 修正バージョン |
|---|---------|---------|
| <p>AvePoint Cloud Governance は、サイト コレクションの 最終アクセス日時 を取得することができません。代わりに、サイト コレクションの 最終更新日時 が 最終アクセス日時 として取得されます。</p> <p>原因: SharePoint Online API の制限に起因します。SharePoint Online API には GetSiteCollectionLastAccessDate が存在しません。SharePoint Online API 制限により、サイト コレクションの 最終更新日時 が 最終アクセス日時 として取得されます。</p> | 1.1 | |
| <p>AvePoint Cloud Governance の有効期限通知メールを Windows Mail で閲覧すると、メールの本文と画像が適切に表示されません。Office 365 Outlook に Internet Explorer 9 を使用してアクセスすると、メール内の画像が適切に表示されません。</p> | 1.1 | |
| <p>AvePoint Cloud Governance を使用してサイトを作成すると、サイト サイズがデータベースでアップデートされません。サイトを作成してから、サイト タイトルを変更し、ライブラリ / ドキュメントをサイトに作成します。タイマー サービスの構成管理 で、サイト情報の同期ジョブ を有効にし、間隔を変更します。サイト情報が同期された後でも、サイトのサイズはデータベースでアップデートされません。</p> | 1.0 | |
| <p>SharePoint Online で コンテンツを含む をオンにしてカスタム ライブラリ テンプレートを作成し、作成したテンプレートを使用して AvePoint Cloud Governance で ライブラリ / リストの作成 サービスを作成します。その後、このサービスを使用して ライブラリ / リストの作成 要求を作成・承認すると、コンテンツが含まれないライブラリが作成されます。この問題は SharePoint API の制限に起因します。</p> | 1.0 | |
| <p>サイトの作成 サービスの サイト テンプレート フィールドで、テンプレートの選択 に -public という文字列が含まれたサイト コレクションの URL を入力すると、エラーが発生します。この問題は SharePoint API の制限に起因します。</p> | 1.0 | |

通知: 本書に含まれる内容は AvePoint Japan が所有かつ提供し、AvePoint Japan およびライセンス所有者に帰属します。本書の内容は著作権および商標登録およびその他所有に関わる法律によって保護されます。本書に掲載する通知および著作権の情報のいかなる削除ならびに変更も禁じます。

著作権: Copyright© 2018 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複製、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10 - 18 京急第一ビル 11 階)、ならびに本書に掲載する情報がサードパーティに所有される場合サードパーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。また上記の如何に関わらず、本発行物内の AvePoint 関連の情報 (派生物及び変化物を含む) の何人による複製及び転載も禁じます。また、如何なる複製物並びに転載物も自動的に AvePoint に属するものとし、該当者または継承者、担当者、相続者、恩恵者、実行者のいずれも該当複製物並びに転載物を直ちに AvePoint へ返却し、必要書類に署名することに同意するものとします。

商標登録: AvePoint®、DocAve®、AvePoint ロゴおよび AvePoint ピラミッド ロゴは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Office、Office 365、SharePoint、Windows PowerShell、SQL Server、Outlook、Windows Server、Active Directory、Dynamics CRM 2013 はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems, Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

変更: 本書の情報は情報提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく AvePoint ソフトウェアのグラフィック ユーザー インターフェイスを変更する権利を所有しています。

V: 20180802_JP_01

AvePoint Japan 株式会社

〒108-0074

東京都港区高輪 4 丁目 10-18

京急第一ビル 11 階